

各位

三井住友海上火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
株式会社インターリスク総研

ベライゾン社、ビットサイト社との協業による 多面的サイバーリスク評価サービスの開始について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）、株式会社インターリスク総研（社長：村戸真）の3社は、ベライゾンジャパン合同会社（社長：藤井一弘、以下「ベライゾン社」）およびビットサイト・テクノロジーズ（CEO：Francisco Fonseca、以下「ビットサイト社」）と協業し、2月1日から、企業のサイバーリスクを多面的に評価する新たなサービスを開始しました。

本評価サービスは、ベライゾン社とビットサイト社が有するサイバーセキュリティに関する最先端の知見を活用し、複雑化・高度化するサイバーリスクを多面的かつ精緻に評価するものです。さらに、インターリスク総研による新たなコンサルティングサービスの提供も開始し、グループ一体となって、企業が多層的にリスクを防御する体制構築をワンストップで支援します。

MS&ADインシュアランスグループは、今後もグループ各社のノウハウを結集し、多様化するお客さまニーズに応える商品・サービスの開発を積極的に進めていきます。

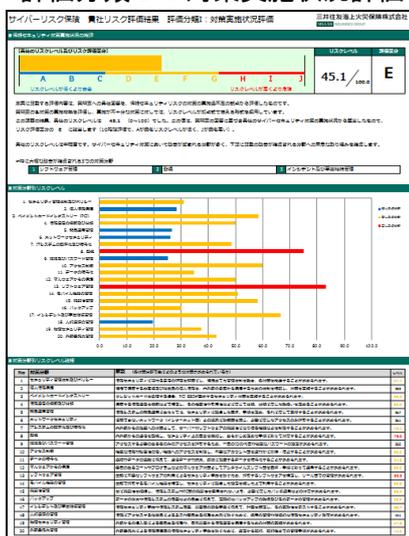
1. リスク評価サービスの概要

(1) ベライゾン社との協業による内部リスク評価

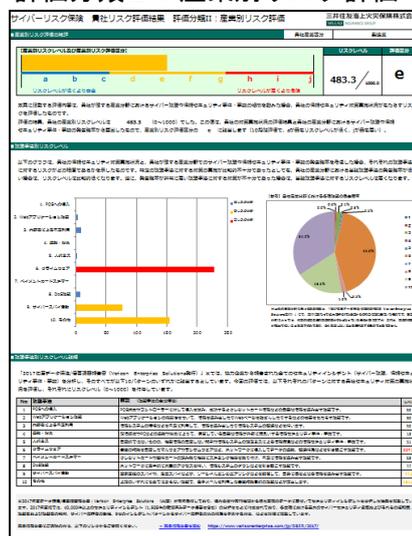
グローバルにセキュリティ事業を展開するベライゾン社が有する84カ国4万件以上のインシデントデータや最新の情報に基づき開発した、リスク評価モデルを活用してスコアリングします。お客さまに回答いただく質問票の内容から、20の情報セキュリティ対策分野別にリスクレベルを評価するほか、お客さまが属する産業分野のサイバー攻撃手法別にリスクレベルも評価します。

<リスク評価結果レポートのイメージ>

評価分類Ⅰ：対策実施状況評価



評価分類Ⅱ：産業別リスク評価



(2) ビットサイト社との協業による外部リスク評価

「システム感染」「不具合情報」「ユーザー行動」の3つに分類して、インターネット接続機器が最新に更新されているかなど、サイバーセキュリティレベルをスコアリングします。お客さまの告知なしにインターネット経由で確認するため、同業種の比較が可能のほか、スコアの根拠となる該当機器やその原因を特定できるため、お客さまは各種対策につなげることができます。

(3) 評価レポート

上記(1)(2)の結果をレポートとしてお客さまへ報告します。評価に基づく精緻なリスク実態を把握でき、お客さまはセキュリティ実態に応じて、保険やコンサルティング等の最適リスクへの備えが可能となります。

2. インターリスク総研が提供するコンサルティングサービスの概要

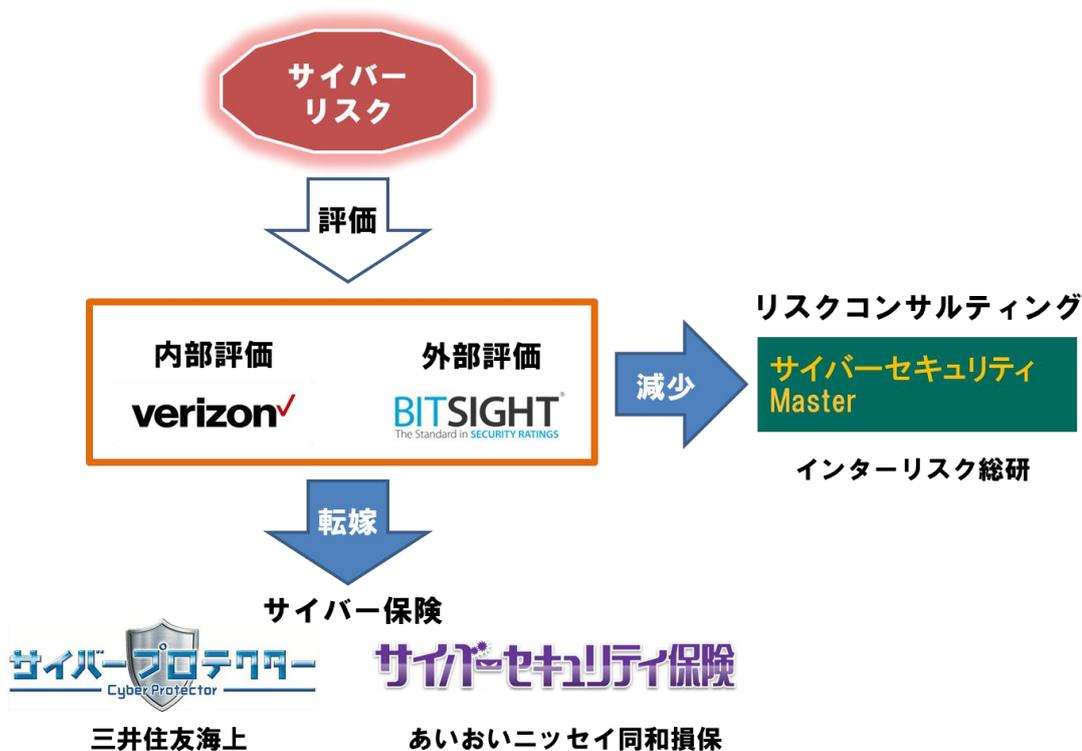
サイバーリスク評価サービスの結果に基づき、インターリスク総研から、改善が推奨される分野に対応する新たなコンサルティングサービス「サイバーセキュリティ Master」を提供します。本サービスは、企業規模に応じて課題解決を図るほか、役職員への教育・研修から技術的対策まで、お客さまニーズに応じて幅広くサポートします。なお、技術的なセキュリティ診断や危険なWEBサイトへのアクセスをブロックする出口対策等には、提携の外部専門事業者を紹介します。

3. サービス開発の背景

2017年上期のサイバー犯罪の検挙件数は4,209件、相談件数は6万9,977件と過去最多となり、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、日本へのサイバー攻撃はさらなる増加が見込まれます。また、昨年3月に発生した官公庁への不正アクセスでは、約70万件もの情報漏えいが発生したほか、昨年5月に発生したランサムウェア「WannaCry」は世界規模で被害をもたらすなど、企業のセキュリティ対策をかくぐる、新たなサイバー攻撃の手法が日々進化しています。

こうした中、企業の抱えるリスクを多面的に評価し、多層的に防御する体制構築をワンストップで支援すべく、グループ体となって本サービスを開発しました。

＜グループ全体のサイバーリスクへの取組イメージ＞



以上

添付別紙：協業企業の概要およびコンサルティングサービスのメニューについて

協業企業の概要およびコンサルティングサービスのメニューについて

1. 協業企業の概要

(1) ベライゾン社の概要

世界最大手の通信事業者であるベライゾン・コミュニケーションズの日本法人として1998年に設立されたセキュリティベンダーです。データ漏えい・侵害調査報告書の発行を含む、グローバルでトップレベルの各種最先端のセキュリティサービスを提供しています。



(2) ビットサイト社の概要

2011年に米国ボストンで創業されたサイバーセキュリティ評価サービスのパイオニア企業です。同社が開発した「BitSight Security Ratings」は、外部ベンダーのリスクマネジメント、サイバーセキュリティレベルの評価、サイバー保険の引受等の分野で活用されています。



2. インターリスク総研から提供する「サイバーセキュリティMaster」のメニュー

課題	サービス名	サービス内容
リスク管理体制の構築	役職員向け教育・研修	サイバーセキュリティ、情報管理に関する役職員向け研修を支援します。
	情報漏えい発生時の対応体制整備	情報漏えい、またはその恐れが発生した際の対応事項、留意点等を整理したマニュアルの策定・見直しを支援します。
インシデントに備えた体制構築	メディア対応トレーニング	情報漏えい等を想定した危機シナリオに基づき、Q&A等の各種ツールの作成、模擬記者会見の実施など、危機対応の実践力を養成します。
リスクの特定と対策の実装	★サーバ・WEBのセキュリティ診断	Web公開サーバ等へ擬似的な攻撃を仕掛け、技術的なセキュリティ診断を行います。
	★出口対策の支援	PCからインターネットへの接続時に、危険なWEBサイトへのアクセスや、WEBサイトからの危険なファイルのダウンロードをブロックします。
リスク管理体制の構築、インシデントに備えた体制構築	★CSIRT基礎研修	CSIRTの必要性、基本的な考え方からインシデントレスポンスについて、座学、演習を通じて体系的に学ぶ研修です。
	★セキュリティ事故対応セミナー	サイバー攻撃によるセキュリティ事故が発生した場合に、セキュリティ担当者として必要な考え方や行動を学ぶセミナーです。

★印のサービスは、提携する外部専門事業者より提供します。